

農場通信 2023年 12月号

2023/11/25

トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容

③ 開始日 ④ 終了予定

① 第4 A

② ココバッグ展示
天敵によるコナジラミ防除試験

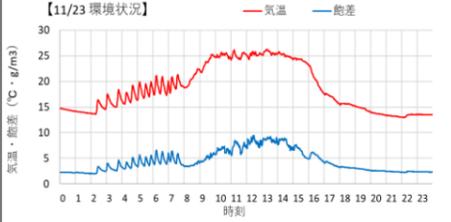
③ 2023/8/30 ④ 2024/8/10

品目	圃場写真①	圃場写真②
■ 栽培中 ■ 栽培準備中 ■ 今月最終		
直近の環境データ・管理方法(晴天日) ※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています		今月の状況 と 今後の管理

大玉トマト



【11/23 環境状況】
気温・飽差 (°C・g/m³) 時刻



8/30に定植しました。品種：桃太郎ホープ
今年、ココバッグ通常タイプ、試作の「ミニ」、
ロックウールで比較試験をしています。また、列中
央に「クレオメ」を定植し、コナジラミの天敵である
タバコカスミカメを放飼して、防除を行っています。
10月末から収穫開始。昨年同様、裂果防止のため
夜間の湿度維持に努めましたが、今年裂果
が多かった。培地の種類で裂果や収量の差は今
のところ見られていません。

① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験

③ 2023/7/28 ④ 2024/6月

① 第4 C

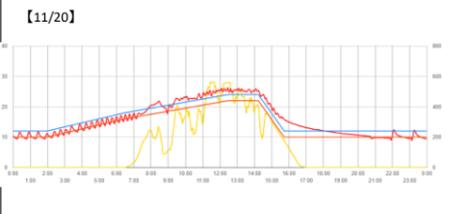
② 大玉トマト品種比較試験

③ 2023/7/28 ④ 2024/6月

ミニトマト



【11/20】

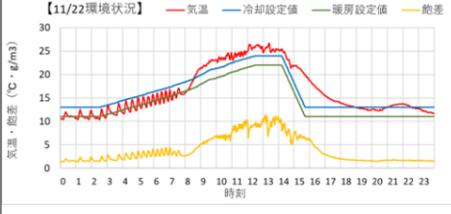


現在、開花段数は15~17段。
気温が下がってきたことで締まった樹になっ
てきました。今度はサイドを締めるので病気
の発生に注意していきます。
給液量は約1400cc/株、EC2.0前後、排液は
30%になるように管理しています。

大玉トマト



【11/22 環境状況】
気温・飽差 (°C・g/m³) 時刻



現在、開花段数10~12段。
裂果が落ち着きました。
冬に向けて管理を行っていきます
株あたり約1300cc、EC2.0前後で管理してい
ます。

① 第4 D ② バラエティートマト品種比較試験 ③ 2023/8/27 ④

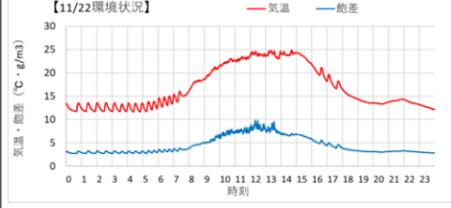
① 第4 E ② イチゴ栽培試験

③ 2023/9/7 ④ 2023/9/20

バラエティートマト



【11/22 環境状況】
気温・飽差 (°C・g/m³) 時刻

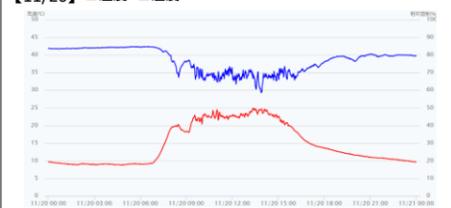


8月27日定植
全ての品種で収穫が始まっています。
株あたり晴天時約1200cc、EC2.0前後で管理
しています。

イチゴ



【11/20】
温度 湿度



10月下旬から現在にかけて出蓄しています。
試験区ごとに差が見られるため調査結果を
今後発信していきます。
収穫始まりは12月中旬を予定しています。
給液は1回50cc×4回、ECは0.7前後です。

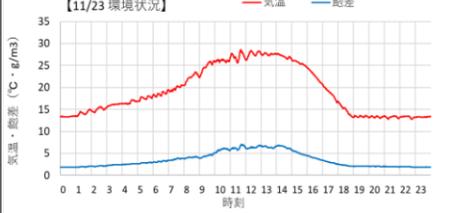
① 第4 J ② ココバッグによる多収技術開発
栽植密度・葉面積管理試験 ③ 2023/10/6 ④ 2024/6月予定

① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2023/8/18 ④ 2024/7月

キュウリ



【11/23 環境状況】
気温・飽差 (°C・g/m³) 時刻

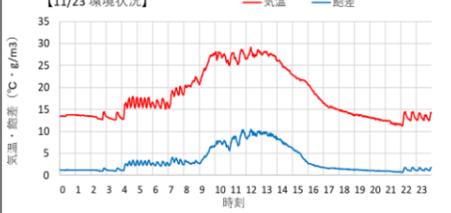


10/6に定植しました。ココバッグは2年目にな
ります。品種は埼玉原種の「S-40」を栽培し、
栽植密度と葉面積の最適値を検証します。
定植後約1か月後の11月始めより収穫開始。
収量、生育共に順調。葉面積試験区では
LAI2.5程度を目安に中間を摘葉しています。
12/19に見学会を企画していますのでご来場
お待ちしております。

高糖度ミニトマト



【11/23 環境状況】
気温・飽差 (°C・g/m³) 時刻



8/18に定植を行いました。
高糖度トマト専用の肥料処方を使い、給液EC2.0
からスタート。10月末時点で給液EC6.0まで上げ、
排液ECは20.0以上(計測不能)になりました。
前年と比較して10、11月の気温が高く、高温乾燥
気味だったためかストレスが掛かりすぎ、糖度は
10度近くまで上がったものの小玉傾向で収量は
出ていない。11月後半は気温も下がり、少し玉肥
大が良くなってきています。



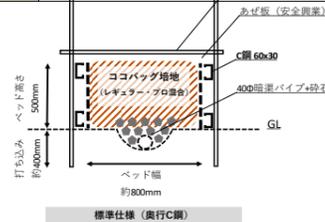
豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp

① 第1 Q ② コマツナ品種比較試験 ③ 2023/7/20 ④ 2023/10月

コマツナ		
準備中		今回は11月下旬播種、1月初旬収穫予定

① 第3 M ② アスパラガス栽培試験 ③ 2023/6/2 ④ 周年

アスパラガス	 	
		<p>アスパラの「枠板式栽培」の実証試験。枠板で隔離したベッドにココバグの中身を入れて養液栽培をします。空きハウスで無加温作物の一つとして提案できれば面白い。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類試験します。</p> <p>今作は株を育て、収穫は来年春からです。11月まで暖かったためか、地上部が枯れずに未だに青々としています。根への転流促進のためにホストップを250培の高濃度で葉面散布します。</p>

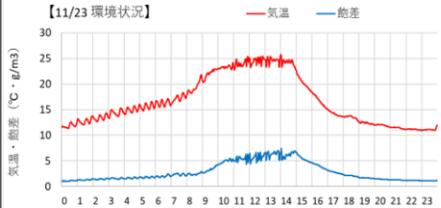
① 第6 露地 ② キャベツ品種比較 ③ 2023/8/23 ④

キャベツ	 	<p>◀ 1 作 目</p>
<p>冬系キャベツ ①年内作 8/23定植 ②年またぎ作 9/5定植 ③年明け作 9/20定植 ④3~4月作 9/27定植</p> <p>春系キャベツ 年明け作 9/27定植</p>	<p>1作目は高温や乾燥によって生育はあまりよくありません。場所によっては土壤の排水性の問題による根傷みで生育不良です。収穫は11月下旬を予定しています。</p> <p>2作目以降も高温、乾燥の影響は受けていますが比較的順調に生育しています。</p>	

① 第7 露地 ② 緑肥試験 ③ 2023/4/13 ④

緑肥	 	
<p>4/13 播種 7/10 緑肥すき込み 8/30 キャベツ定植</p>	<p>緑肥の効果検証のため通常の施肥量(窒素)を2割減らしています。施肥量を減らした分、全体的に生育の遅れが見られます。12月上旬に収穫、調査を予定しています。</p>	

① 第8 ② 大玉トマト高糖度栽培試験 ③ 2023/8/18 ④ 2024/7月下旬

高糖度トマト	 	
<p>【11/23 環境状況】</p> 	<p>品種は昨年同様 麗旬、台木はアーノルドになります。今作は「高糖度トマト安定生産技術開発」の3年目となります。今作は増枝による増収技術の確立を目指します。</p> <p>10月末から収穫開始。11月末現在の開花段数8段前後。収穫段数2-3段目。糖度はまだ5度程度ですが、4段目以降の玉が小玉になりグリーンが濃くなってきているので、12月には糖度が上がってくると思われます。</p>	

① 第2 露地 ② ブロッコリー品種比較 ③ 2023/8/21 ④

ブロッコリー	 	<p>◀ 2 作 目</p>
<p>1作目: 7/25播種 8/21定植 2作目: 8/16播種 9/15定植 3作目: 8/29播種 9/26定植 4作目: 9/12播種 10/11定植</p>	<p>各作型、順次追肥を行っています 1作目で収穫が始まりました。 2作目についても、出蕾が確認され、一部の品種で収穫を行っています</p>	

① 第7ハウス ② 産直向け品目 ③ 2023/10月 ④

産直向け品目	 	
10月より産直向け品目栽培中	<p>南棟では、ニンジンやピーツを 北棟では、ブロッコリーや芽キャベツ、ズッキーニなどを栽培しています</p> <p>見頃は12月からになる見込みです。</p>	



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp